

## Study Plan1 模擬国連会議とは

今回のスタディプランでは、模擬国連会議とは何かを説明します。まず、模擬国連会議では具体的に何をするかを説明します。次に、模擬国連会議の大まかな流れを説明します。

### 1. 模擬国連会議とは

模擬国連会議では、「国連会議」を「模擬」します。

「国連会議」は、国連に加盟している国の大使(一国の政府を代表して国際会議に参加する外交官)が集まり、ある議題(国際問題)を話し合い、各国間の合意を形成する場です。各国間の合意は、「決議」という文書の形で世界中に公表されます。限られた時間の中で、「決議」という議題に対する解決の指針をまとめることが国連会議の目的です。

「模擬」とは、大使となって国際会議に参加するということです。

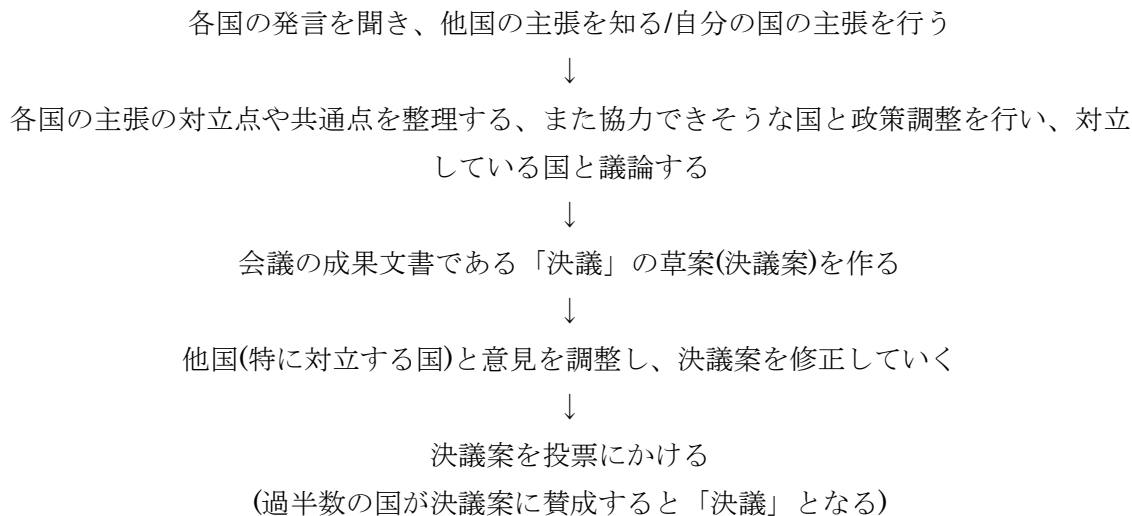
「大使となって国際会議に参加する」ということは、「個人」の視点からではなく、担当国政府という「国家」の視点から議論を行うことを意味します。大使は、担当国内での議論や担当国の国際的な立場を踏まえた発言や行動を行います。

『国家』の視点から議論を行う」とは担当国にとって最も利益になる方法で、議題を解決しようと試みることを意味します。加えて、ゼロから議題を話し合うのではなく、過去の議論やすでに行われている議題に対する解決策を踏まえた上で、議論を進めることも意味します。

従って、模擬国連はディベートとは異なります。ここでいう「ディベート」は、両者が自分の意見が優れていることを主張し合い、議論の勝ち負けがジャッジによって判断されるゲームを指します。模擬国連会議では、自国の主張をするだけでなく他国の主張にも耳を傾け、自国の主張と調和させる必要があります。なぜなら、相手の主張を攻撃するのではなく、できる限り多くの国が納得できる形で議題に対する解決策をまとめることが、模擬国連会議の目的の一つであるためです。

確かに他国の主張を攻撃することは、その他国に自分の主張を納得させる手段の一つです。しかし、政府代表となるみなさんの最終的な目標は、担当国にとって最も利益になる形での議題解決の方法を、できる限り多くの国の支持を得て決議として採択することです。「できる限り多くの国の支持を得」るには、他国の主張を攻撃するだけではなく、他国の主張も積極的に取り入れることや担当国の主張が他国にとっても利益になることを説明する必要があります。

## 2. 会議の簡単な流れ



## 3. 会議の議事進行<sup>1</sup>

### ロールコール/ Roll Call(出席確認)

議長が国名を読み上げ、出席国を確認します。



### 議題採択/ Setting the Agenda

今回の会議においては、議題は予め1つしか設定されていないので、この議題を話し合うことに反対の大使がいなかったかを確認するのみとなります<sup>2</sup>。



### 討議開始/ Debate

どちらの討議形式をとるかは  
その都度議場の大使が提案・  
決定していきます<sup>3</sup>。

#### 〔公式討議/ Formal Debate〕

討議が始まったら、まず議長が公式発言(スピーチ)を行いたい国を募集し、スピーチを行う国の順番のリストを作ります。そのリストに従って、各国のスピーチを順番に行っていきます。

公式発言の間は、各国大使は席についていなければなりません。

#### 〔非公式討議/ Informal Debate〕

非公式討議には2種類のスタイルがあります。

##### ① Moderated Caucus

発言を希望する各国大使は自分の席で、あるトピックに従って、簡潔に自国の方針を述べていきます。トピックは動議を挙げた大使が指定することが可能です。

##### ② Unmoderated Caucus

自由に席を立てて交渉したい国のところへ行ったり、スピーチの準備をしたり、決議案を作成したり、各自が自由に時間を使えます。

<sup>1</sup> 本年度の議事進行ルールは、基本的に NY 大会で採用されているものとします

<sup>2</sup> 大会によっては、複数提示されている議題から投票でどの議題を話し合うかを決定する場合もあります

<sup>3</sup> 議長が決定する場合もあります。これを「議長裁量」といいます

**討議の終了/Closure of the Debate**

全ての公式発言(スピーチ)が終わったら、自動的に投票行動に移ります。  
または、もう十分に討議を尽くしたと議場の大使が判断したら、討議を打ち切り、投票に入ります。



**投票/Voting**

決議案へ投票を行います。各国は、決議案に対して、賛成(Yes)・反対(No)・棄権(Abstention)の票を投じ、棄権を除いた過半数<sup>4</sup>の大使が決議案に賛成すると、その決議案は「決議」となります。



**会議終了**

以上で今回のスタディプランは終了です。大まかな模擬国連会議の流れは把握できたかと思います。次回のスタディプランでは、リサーチと呼ばれる会議に向けた準備の説明をします。

文責：JCGC

---

<sup>4</sup> 決議案に対し賛成した国/賛成した国+反対した国が 1/2 を上回れば、その決議案は可決され決議となります